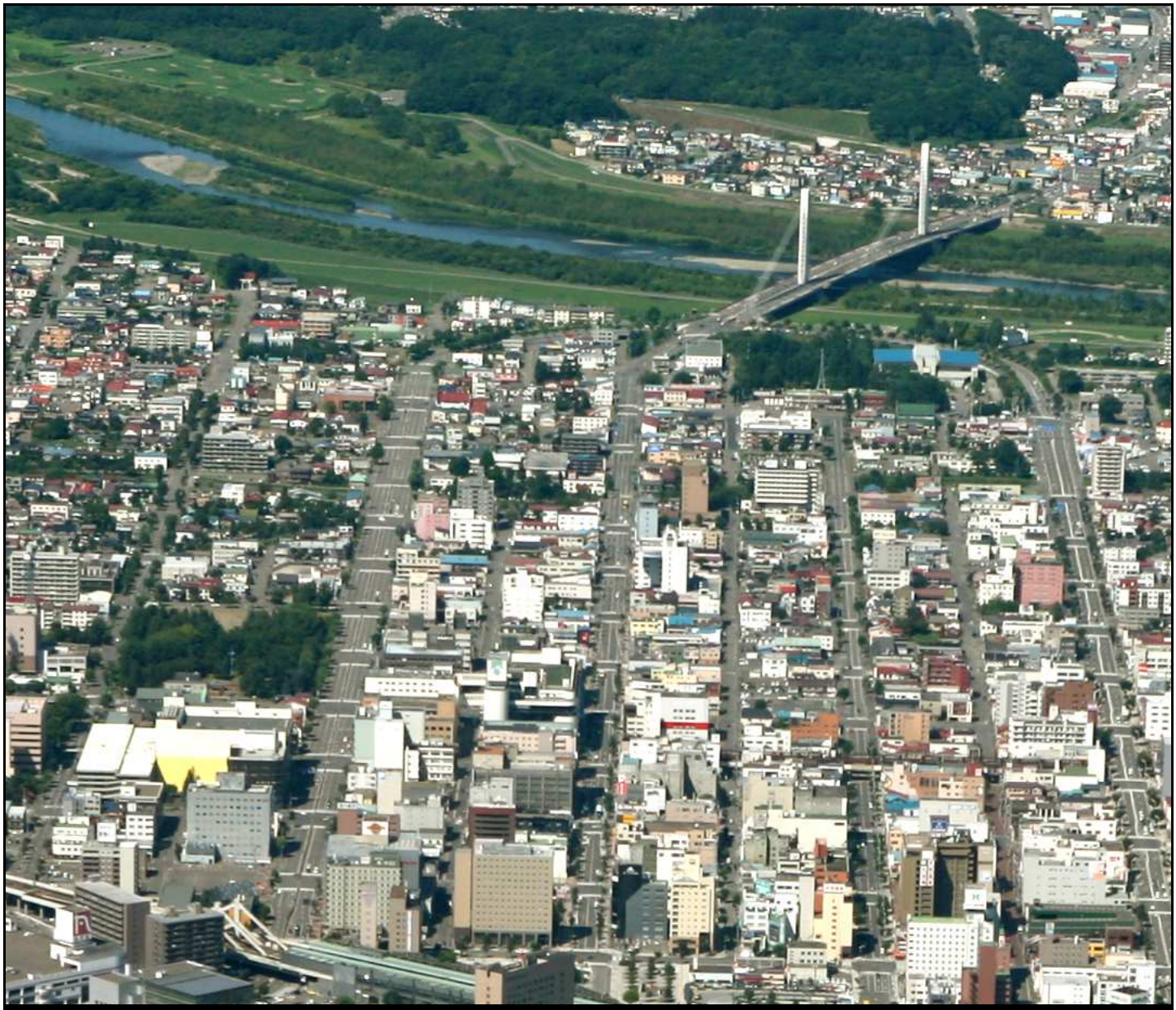


第２期帯広市中心市街地活性化基本計画

概　要　版

平成２５年３月
（平成２７年３月変更）
（平成３０年３月変更）

帯　　広　　市

1 第１期計画（期間：H19.8～H24.3）の総括と今後の方向性

目標	現　状	市民の認識（ｱﾝｹｰﾄ結果等）	第１期計画総括	今後の方向性
街なか居住の促進	○居住人口は横ばいの傾向にある ○高齢化率は全市平均に比べて高い ○平均世帯人員は全市平均に比べて少ない ○全市的に、今後も一層の高齢化が進行する見込み	○商業者は居住人口の増を望んでいる ○中心市街地の交通の利便性の向上に対する要望も一定程度存在する	○経済情勢の悪化等により住宅を供給する事業が実現せず ○民間による住宅供給も停滞	○居住人口の増が望まれており、コンパクトで持続可能なまちづくりを実現するためにも、達成に向けて取り組んでいくことが必要 ○一層の高齢化の進行に対応し、ターゲットを絞って遅延している開広団地再整備事業を促進。なお、経済情勢等の外部要因に大きく影響されないよう、事業内容を見直す ○西2・9西地区優良建築物等整備事業など、居住人口の増加に向けた事業の促進 ○高齢者おでかけサポートバス事業などによる交通の利便性の確保

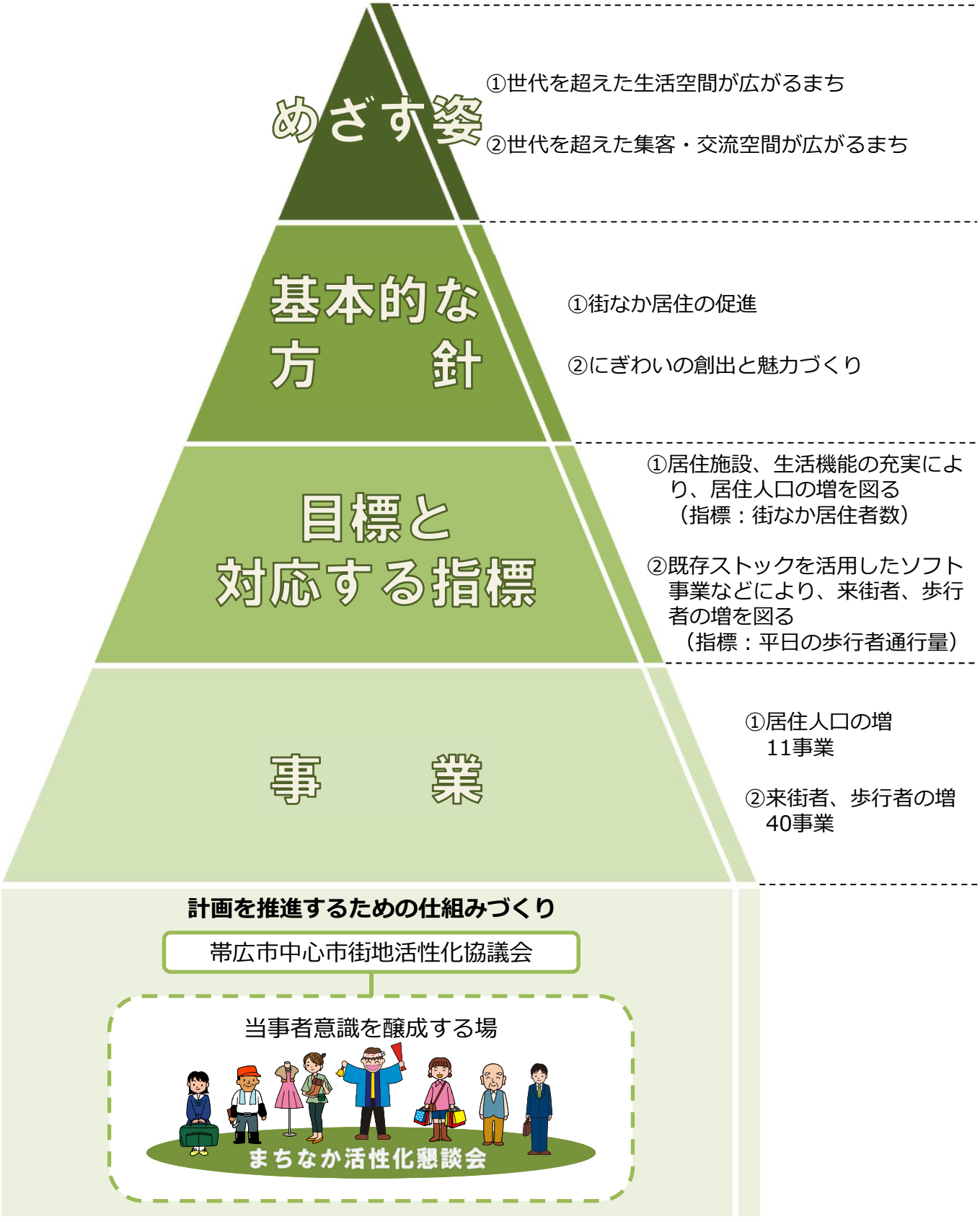
目標	現　状	市民の認識（ｱﾝｹｰﾄ結果等）	第１期計画総括	今後の方向性
にぎわい創出、来街者、歩行者の増	○歩行者通行量は１～２万人の間で推移（増加傾向） ○中心市街地の総店舗数は減少傾向（店舗の住居転用、駐車場化・空き地化の進行） ○大型空き店舗が存在	○市民は魅力のある店舗が少ないと感じている ○商業者も個店の魅力向上の必要性を感じている ○大型店の誘致、イベントの充実も課題として挙げられている ○中心市街地の交通の利便性の向上に対する要望も一定程度存在する	○大型空き店舗の再生は実現せず ○歩行者通行量の増加傾向は、帯広まちなか歩行者天国事業などのソフト事業による効果 ○広小路商店街アーケードの再生の実現	○個店の魅力向上などが望まれており、引き続き、達成に向けて取り組んでいくことが必要 ○大型空き店舗の再生は、関係者への働きかけなど、引き続き検討していく ○開広団地再整備事業、西2・9西地区優良建築物等整備事業で商業施設を整備 ○再生された広小路商店街アーケードを活用し、帯広まちなか歩行者天国などと連携したイベント事業等の実施 ○個店や商店街の魅力向上を図るための商人塾事業、商店街に対する補助事業など各種取組の継続、発展 ○高齢者おでかけサポートバス事業や市営駐車場の運営、共通駐車券事業などによる交通の利便性の確保

目標	現　状	市民の認識（ｱﾝｹｰﾄ結果等）	第１期計画総括	今後の方向性
活動拠点施設利用者の増	○活動拠点施設の利用率は順調に推移 ○とかちプラザ、図書館、市民文化ホール、市民活動交流センター、市民ギャラリーと、中心市街地に公共の活動拠点施設が多数立地	○市民の約３分の２は芸術・文化に親しむ環境が整っていると感じている	○市民ギャラリーの整備の実現により、中心市街地の活動拠点施設の利用が促進	○第１期計画の目標値を達成し、中心市街地において現時点で必要な活動拠点施設の整備はほぼ実現 ○目標は設定しないが、街なか居住促進のため、施設の利活用を促進し、文化、生涯学習機能を充実して住みよい環境づくりを継続する

第２期計画に向けて

今後の方向性として、街なか居住の促進のほか、商店街にはにぎわい創出、個店の魅力づくりが求められており、これらの取組をさらに促進するため、第２期計画を策定する。
また、第２期計画では、既存の社会資本ストックを活用し、中心市街地における商業者を始めとする関係者が自らの創意・工夫により、これまで以上に当事者意識を持って計画が推進されるよう、仕組みづくりを進めていく。

2 第２期計画の構成


めざす姿
①世代を超えた生活空間が広がるまち
②世代を超えた集客・交流空間が広がるまち
基本的な方針
①街なか居住の促進
②にぎわいの創出と魅力づくり
目標と対応する指標
①居住施設、生活機能の充実により、居住人口の増を図る
（指標：街なか居住者数）
②既存ストックを活用したソフト事業などにより、来街者、歩行者の増を図る
（指標：平日の歩行者通行量）
事業
①居住人口の増
11事業
②来街者、歩行者の増
40事業
計画を推進するための仕組みづくり
帯広市中心市街地活性化協議会
当事者意識を醸成する場
まちなか活性化懇談会

3 第２期計画でめざす中心市街地の姿

第２期計画で めざす中心市街地の姿

世代を超えた

①生活空間

②集客・交流空間

中心市街地区域
（140ha）

考え方

①世代を超えた生活空間が広がるまち

文化、生涯学習施設など様々な公共施設が立地し、都市機能が集積している中心市街地は、コンパクトで持続可能なまちづくりを進める上で重要な役割を持っていることから、住みたくなる魅力的な生活空間の形成が必要である。

②世代を超えた集客・交流空間が広がるまち

にぎわいのある中心市街地には、若者や親子連れなど、様々な世代が買い物や交流するため、訪れたくなる魅力的な集客・交流空間の形成が必要である。

4 基本的な方針、目標及び指標

第２期計画でめざす中心市街地の姿を実現するための基本的な方針と、対応する目標、指標を次のとおり定める。

基本的な方針	**街なか居住の促進** 全ての世代にとって住みやすく、快適に生活できる魅力的な住宅及び利便施設を中心市街地に供給することによって、居住人口の増加を図り、生活空間として質の高い中心市街地を形成する。	**にぎわいの創出と魅力づくり** 中心市街地においてこれまで整備されてきた、公共施設を始めとするストックを活用したイベント、取り組みを連続、連携して展開していくことや、商業機能の充実によって、様々な世代がつどい、にぎわいと魅力のある中心市街地を形成する。
目標	**居住人口の増**	**来街者、歩行者の増**
指標	街なか居住者数 **3,100人**	歩行者通行量（平日） **24,000人**

指標の考え方

指　標	考　え　方	数　値
街なか居住者数	現況値…①	2,817人
	開広団地再整備事業による増加…②	244人
	西２・９西地区優良建築物等整備事業による増加…③	104人
	人口変動予測値（※）…④	-60人
	目標値（①～④の計の概数）	**3,100人**
歩行者通行量（平日）	現況値…⑤	22,905人
	広小路アーケード空間を活用した集客及び回遊・滞留事業による増加…⑥	496人
	街なか居住者数の増による増加…⑦	122人
	開広団地再整備事業及び西２・９西地区優良建築物等整備事業における商業施設等の整備による増加…⑧	628人
	開広団地再整備事業による従業員の増による増加…⑨	66人
	目標値（⑤～⑨の計の概数）	**24,000人**

※事業効果等を考えずに、現在の状況が今後も継続するとして推計した計画期間中の人口変動

5 基本的方針、目標に基づく事業の展開（51事業）

基本的方針	目　標	区　分	事　　業	実施年度
街なか居住の促進	街なか居住の促進により、居住人口の増を図る	居住施設整備事業	1.　開広団地再整備事業	H21～H26
			2.　西２・９西地区優良建築物等整備事業	H24～
			3.　西３．９周辺地区第一種市街地再開発事業	H29～
		居住環境向上事業	4.　まちなか居住プラットホーム事業	H22～
			5.　町内会加入促進事業	H12～
			6.　自主防災組織の設立促進事業	H17～
			7.　市民活動交流センター運営事業	H18～
			8.　おびひろ市民芸術祭事業	S56～
			9.　芸術・文化鑑賞事業	H1～
			10.　プラザまつり事業	H7～
			11. 図書館利活用事業	H17～
にぎわいの創出と魅力づくり	既存ストックの活用によるにぎわいの創出と魅力づくりにより、来街者、歩行者の増を図る	にぎわいづくり事業	**12. 広小路アーケード空間を活用した集客・回遊・滞留事業**	**H23～**
			13. 帯広まちなか歩行者天国事業	**H18～**
			14. おびひろイルミネーションプロジェクト	H14～
			15. 平原のルキア	H15～
			16. OBIHIROほっとマグフェスタ	H22～
			17. まちなか産直市	H24～
			18. フードバレーとかちマラソン大会	H24～
			19. とかちマルシェ事業	H23～
			20. おびひろ平原まつり	S22～
			21. おびひろ菊まつり	S45～
			22. ベーカリーキャンプ（北海道小麦キャンプ）	H25～
			23. 社会を明るくする運動	H5～
			24. ガイアナイトinおびひろ	H21～
			25. おびひろ夢あかりアートの街	H12～
			26. 平原通商店街活性化事業	H24～
			27. 栄通商店街活性化事業	H25～
			28. 街なかコミュニティ・ホテル事業	H27
			29.　高齢者いきいきふれあい館「まちなか」運営事業	H28～
			30.　中央公園再整備事業	H27～
			31.　中心市街地Wi-Fi環境整備事業	H29～
		商店街、個店の魅力づくり事業	32. 商店街活性化事業演出・催事実施事業	S62～
			33. 商店街活性化事業地域いたわり商店街事業	H20～
			34. 商人塾事業（中心市街地活性化基本計画推進事業）	H16～
			35. 自慢の逸品事業	H19～
			36. 北の屋台事業	H13～
			37. 帯広電信通り商店街活性化事業	H23～
			38. まちなかインキュベーション事業	H23～
			39. 免税店機能整備事業	H29～
		その他の事業	40. 市営駐車場管理・運営事業	S49～
			41. まち美化サポート事業（クリーン・キャンバス・21）	H13～
			42. 共通駐車券事業	H1～
			43. 商店街活性化事業歩道ﾛｰﾄﾞﾋｰﾃｨﾝｸﾞ設備維持事業	H11～
			44. 駅北多目的広場花いっぱい事業	H22～
			45. 帯広商工会議所まちなか支所運営事業	H22～
			46. 買物共通バス券事業	H14～
			47. 高齢者おでかけサポートバス事業	H24～
			48. エコバスセンターりくる事業（公共交通・観光活性化拠点運営事業）	H22～
			49. 環境問題教室	H19～
			50. 元気おびひろ！　まちなか食遊バスパック事業	H24～
			51. まちなか活性化懇談会実施事業	H24～

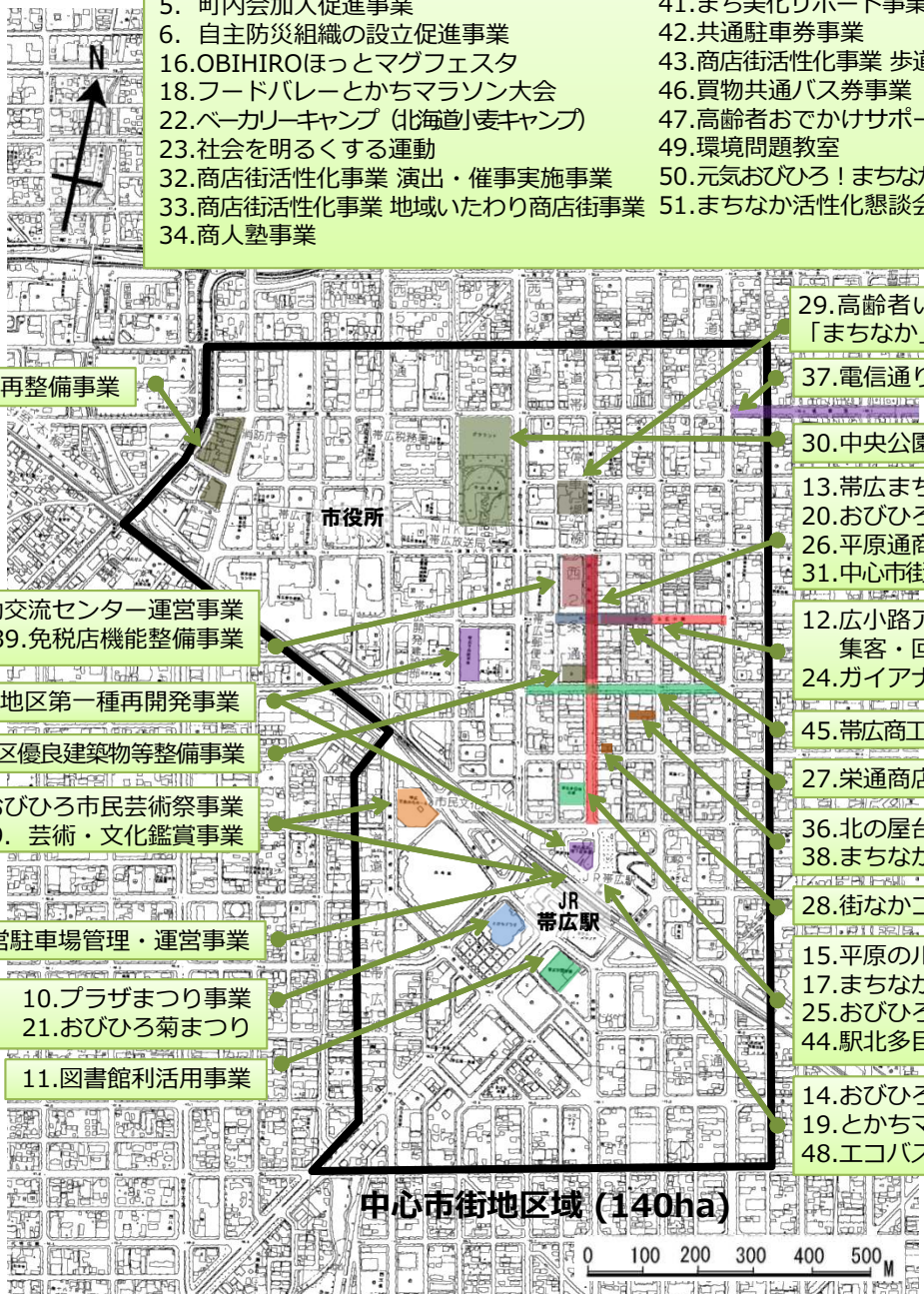
※下線は計画変更に伴い追加した事業（“……”…平成27年変更時より追加、“__”…平成30年変更時より追加）

6 事業箇所図（区域図）

※各事業に付している番号は、前ページと共通である

場所の特定がない、全域にわたる事業

4. まちなか居住プラットホーム事業
5. 町内会加入促進事業
6. 自主防災組織の設立促進事業
16.OBIHIROほっとマグフェスタ
18.フードバレーとかちマラソン大会
22.ベーカリーキャンプ（北海道小麦キャンプ）
23.社会を明るくする運動
32.商店街活性化事業 演出・催事実施事業
33.商店街活性化事業 地域いたわり商店街事業
34.商人塾事業
35.自慢の逸品事業
41.まち美化サポート事業(ｸﾘｰﾝ・ｷｬﾝﾊﾞｽ・21)
42.共通駐車券事業
43.商店街活性化事業 歩道ﾛｰﾄﾞﾋｰﾃｨﾝｸﾞ設備維持事業
46.買物共通バス券事業
47.高齢者おでかけサポートバス事業
49.環境問題教室
50.元気おびひろ！まちなか食遊日帰り路線ﾊﾞｽﾂｱｰ事業
51.まちなか活性化懇談会実施事業



1. 開広団地再整備事業
7.市民活動交流センター運営事業
39.免税店機能整備事業
3.西3･9周辺地区第一種再開発事業
2. 西2･9西地区優良建築物等整備事業
8. おびひろ市民芸術祭事業
9. 芸術・文化鑑賞事業
40.市営駐車場管理・運営事業
10.プラザまつり事業
21.おびひろ菊まつり
11.図書館利活用事業
29.高齢者いきいきふれあい館「まちなか」運営事業
37.電信通り商店街活性化事業
30.中央公園再整備事業
13.帯広まちなか歩行者天国事業
20.おびひろ平原まつり
26.平原通商店街活性化事業
31.中心市街地Wi-Fi環境整備事業
12.広小路アーケード空間を活用した集客・回遊・滞留事業
24.ガイアナイトinおびひろ
45.帯広商工会議所まちなか支所運営事業
27.栄通商店街活性化事業
36.北の屋台事業
38.まちなかインキュベーション事業
28.街なかコミュニティ・ホテル事業
15.平原のルキア
17.まちなか産直市
25.おびひろ夢あかりアートの街
44.駅北多目的広場花いっぱい事業
14.おびひろｲﾙﾐﾈｰｼｮﾝﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ
19.とかちマルシェ
48.エコバスセンターりくる事業

7 認定日及び計画期間

・中心市街地活性化法に基づく認定日：平成25年3月29日
・計画期間：平成25年4月から平成３２年3月まで（７年間）
※国の認定計画は5年目（～平成30年3月）まで。以降2年間は市独自計画。

第２期帯広市中心市街地活性化基本計画
概　要　版

平成２５年３月
（平成２７年３月変更）
（平成３０年３月変更）

帯広市　商工観光部　商業まちづくり課

〒080-8670　帯広市西5条南7丁目1番地
TEL : (0155)65-4164　／　FAX : (0155)23-0172
commerce@city.obihiro.hokkaido.jp